



関東学院大学×総合的な探究の時間

関東学院大学学長 小山巖也先生 講演会

「なぜ探究学習なのか？～大学での学び,社会での仕事から考える～」

自ら問いを立て、他者と協力しながら行動に移せる人材へ



2年次後期の総合的な探究の時間は、高大連携校である関東学院大学の先生方のご指導をいただきながら、社会課題の解決に向けた探究を行います。10月5日は学長の小山巖也先生に「なぜ探究学習なのか？～大学での学び,社会での仕事から考える～」と題し、社会で必要とされる力から高校で探究に取り組む意義について講義していただきました。

少子高齢化やAIの進化,環境問題など社会課題を取り巻く状況の変化から,課題を発見し、自ら問いを立て、解決していく手だてを考えていくことが社会で必要とされているということ,具体的な事例から説明していただきました。

高校での探究においても、「どうなっているのか？」（課題を調べる）,「なぜそうなっているのか？」（課題について考える）,「どうすればいいのか？」（解決のためにどう動くか）の3つの問いを立てること,課題解決に向けて多様な人と協働し,さまざまな視点や価値観を共有して取り組んでいく力を伸ばしていくことが大切であるというお話を伺いました。生徒には,先生のお話の最後にあったように,課題解決の基礎となる知恵や知識といった教養を通常の授業でしっかり身につけ,それを高校の探究や大学での学びにつなげ,これからの社会で求められる人材になっていてもらいたいものです。